



まちづくり情報特派員特集

プロジェクト kaisei

挑戦者たち Challenger
金井島浮世連

「開成町の初秋といえば阿波おどり」

今でこそ皆が口をそろえるこの言葉を昭和63年、今から30年前、雨の中開催された第1回開成町阿波おどりに参加した790名の何人が想像したであろう。

「この踊りは地域のつながりを強くする。」

当日急遽会場となった文命中学校体育館で踊りながら金井島在住の瀬戸 厚さんは思った。

これは阿波おどりを通して地域のコミュニティの形成に取り組んでいる男の物語である。



熱気あふれる会場を体感してみたい

菊川 以前は、小学校に行つて、阿波おどりの指導をしていました。
井上 現在も、続いていますが。阿波おどりは、開成小学校の運動会の全校種目になっています。夏休み中に学校の先生に教えるべく、年3回、開成小学校に指導に行っています。今後は、開成南小学校でもこのような活動をしていきたいと考えています。

成長を続ける阿波おどり

井上 開成町阿波おどりは、30年の歴史の中で、会場やプログラムなどを変えながら開催してきました。急激な変化ではないですが、変化を恐れずに、ゆつくりと成長を続けてきたことが開成町阿波おどりの一番の強さだと思います。
小玉 町外連の踊りを、町内の連が見る機会が必要だと考え、福祉会館でコンテストを開催していた時期がありました。今ではコンテストは路上で行っていますが、新しいこ

とを取り入れ、やり方を変えていくことは、大変な面もありますね。
菊川 30年の歴史があれば、色々なことがあります。その一つ一つの経験を積み重ね、次に活かし、現在の開成町阿波おどりができていると思います。

小玉 以前、文命中学校のグラウンドで行っていた総踊りは、今でも良かったといわれています。
井上 現在は、各連の踊りが終わった後に、各会場で総踊りを行っています。最後にみんなで盛り上がるのはいいですね。
菊川 総踊りは開成町阿波おどりの魅力の一つですね。こ

れからも続けていってほしいです。

井上 25周年から始めたパレードも評判がよく、他の地域でも取り入れられています。

菊川 30年前からだいぶ変わってきましたが、踊りや鳴り物は年々レベルアップしていると思います。30回目の開成町阿波おどりが楽しみです。

井上 楽しいだけでなく、地域の活性化につながっていくことも大切にしたいと思っています。今後のさらなる成長につながる形で、第30回開成町阿波おどりを盛大に開催したいと思います。多くの皆さんの参加、観覧をお待ちしています。

第30回開成町阿波おどり
平成29年9月9日(土)
開成町役場周辺・町道及び県道

始まり

阿波おどりが開成町で始まった日から30年。

平成8年の発足当時から「金井島浮世連」を率い、連長を務めている瀬戸 厚さん(75歳)。

鳴り物(鉦や笛、太鼓など)はあきらめ、始めはなかなか人が集まらなかった。苦肉の策として、自治会の組長は必ず参加してもらったそうだ。

県内で阿波おどりが盛んな大和市へ有志5、6人で何度も練習に行った。

始めは、ただ手や足を動かしているだけだったが、次第に、皆そのリズムに魅了され、体が覚えていった。

地域のつながり

「今では自治会が様々な面でバックアップしてくれるので、地域で一体となって阿波おどりを盛り上げています。」と瀬戸さん。

「引退した方が、新しく入った方に浴衣を譲ったり、同級生間でしかあいさつをしなかった子どもが、阿波おどりを通じて知り合った異学年の子とあいさつを交わすようになったり、地域でのつながりが強くなったと感じています。」
これからの、誰でも自由に参加

できる体制を整えていきたいと瀬戸さんは語った。

年に一度のまつりに向けて

田んぼと畑に囲まれた金井島公民館。道祖神が終った頃から、毎年阿波おどりの練習が始まる。

瀬戸さんは、阿波おどりの基本を徹底的に指導する。

「時には叱ることもあります。基本をしっかりと身に付けることを大切にしています。好きでやっているのに嫌になったことは二度もありません。みんな生懸命やっているので、最年長ですが頑張れます。」
瀬戸さんの掛け声で、練習は日ごと熱を帯びていく。

目玉も

阿波おどりはリズムが重要だ。このリズムで自然に体が動き出す。「流し踊りをぜひ多くの人に見てもらいたい。」と瀬戸さん。

子どもから大人まで、みんながリズムに乗って町の中を踊りながら過ぎていく風景を、瀬戸さんは思い浮かべる。子どもにもつられて親も踊る。親に連れて子どもも踊る。リズムに連れてみんなが踊ります。
こんな風景が町のあちこちから繰り返り広げられたら素晴らしい。

阿波おどりを支えるみなさん 連の熱気を伝える

開成町消費者の会 会長 鳥海 由美子さん(円中)

阿波おどり会場で、連の紹介アナウンスを会で行っています。「開成町阿波おどり」は、町を代表するイベントなので、とにかく間違わないようにしています。本番に向け、事前に原稿の読み合わせを行い、当日は、本番1時間前には集合し、最終確認をします。

連の紹介は「明るく、元気よく」、連の熱い想いを伝えることを心掛けています。ぜひ、各会場のアナウンスにもご注目(耳)ください!



消費者の会は、今年で結成41年。会員募集中です。問合せは産業振興課まで。

▽ 圧巻! ▽
オープニングパレード
16:15~17:00

参加連が一堂に会し、ズラリと並んだ高張提灯、先頭を踊る子どもたちの踊りが見どころ!

あじさいちゃんイチオシ 開成町阿波おどりのみどころ!

▽ 参加連と一緒に踊れちゃう! ▽
にわか会場

総踊り 20:25~20:35

クライマックスは会場みんなで盛り上がります!

もうすぐ本番!練習に熱が入る



さあ踊りましょう! ャットセー ャットヤット!

今年ももうすぐ町中に掛け声や鳴り物の音が響き渡る。
瀬戸さんは、今年も金井島浮世連の連長として、子どもから大人まで約40人を率いる。

「今年も子どもが踊っているからと、そのお父さんたちが3人新たに入ってくれました。ありがたいですね。日ごろ忙しくて、なかなか顔を合わせない人たちも、こうして阿波おどりを通じてつながっていきます。」
瀬戸さんは嬉しそうに言った。

取材後記

阿波おどりが続いてきた要因の一つが見えたような気がした。きっとこれからもこのリズムがそれぞれの思い出とともに人と人とのつながりを作っていくのであろう。
まちづくり情報特派員 石塚 敦